

令和6年度

生比奈小学校

鼓動

校長室通信

NO.8

避難訓練

9月とはいえ、まだまだ厳しい暑さの毎日が続いています。2学期が始まり2週間が経過しました。夏休み中は、プール監視や愛のパトロールにご協力いただきありがとうございました。お陰様で大きな事故もなく、みんな元気に2学期を迎えられていることをご報告いたします。

さて、9月12日は避難訓練でした。今回は、地震発生に伴って用務員室から火災が起こったという想定で行いました。10時20分の放送で、教室にいる子は机の下に潜り込み、運動場や廊下にいる子はダンゴムシのポーズを取って揺れが収まるのを待ち、どの学年も整然と運動場に避難できていました。しかしながら、本当に大地震が起こった場合を想像しながら訓練ができたでしょうか。廊下には窓ガラスが割れて飛び散り、天井のコンクリートが落ちてきているかもしれません。また、大きな傷を負って血を流している子がいるかも知れません。そのような中でも、みんなで力を合わせ命を守る行動ができなければなりません。

夏休み中の8月8日に日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が起こり、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことは記憶に新しいと思います。勝浦町は津波の心配がなく、海沿いの地域に比べると地震に対する危機感が薄いように感じます。けれども、南海トラフ地震によって大きな揺れが起こり、土砂崩れや家屋の倒壊等による命の危険にさらされていることには間違いありません。地震がいつ・どこで起こっても、自分の命を守るための行動や知識を身につけ、助かった命を維持する（避難生活を送る）方法を身につけることが児童一人一人に求められます。

9月26日には、地域の方や防災の専門家に来ていただき防災学習会を開催します。避難所開設体験や応急手当体験、防災グッズの展示など7つのブースを学年ごとに体験し、昼食は炊き出し防災食をいただく予定です。児童にとって貴重な学びの場にしたいと思います。

